

【使用後のお手入れ】

- 少なくとも一日に一回は内面を洗ってください。
- 使用後はスポンジタワシ等で洗い水気を拭き取って乾燥させてから収納してください。
- 塩分や油脂分を含んだ汚れが付いたまま置くと茶色や黒っぽいシミ汚れなどになり汚れが落ちにくくなります。また、サビの原因にもなります。汚れはこまめに洗って取り除いてください。
- 鉄製品やアルミ製品等の異なった金属製品のものと同様に接触したまま置くとサビの原因になりますので注意してください。
- サビが発生した時はクリームクレンザーをスポンジタワシ等につけて擦り落とし、よくすすいでください。
- 使用にしたがい底面にや白い斑点が付着してくることがあります。これは水道水中に含まれるマグネシウム・カルシウム等が残留し付着するのためのものです。衛生上問題はありません。本体と蓋にも付着しますのでお手入れの際にはよく洗ってください。
- ストレーナーを容器等に強くぶつけたり叩いたりしないでください。変形したり破損します。ストレーナーのメッシュ部分に詰まった汚れはブラシ等できれいに取り除いてください。

品質表示

- 材料の種類／本体・蓋：ステンレス鋼(クロム18%・ニッケル8%)
取っ手・ツマミ：フェノール樹脂(耐熱140℃)
ストレーナー：ステンレス鋼(クロム18%・ニッケル8%)
底：ステンレス鋼(クロム18%) (底厚0.5mm)
- 満水容量／2.6L
- 適正容量／2.0L


下村企販株式会社

〒959-1276 新潟県燕市小池4803-4
TEL (0256) 64-5588 (代)

【使用前の準備】

- 最初に使用する時は食器用洗剤をスポンジタワシにつけて内部を良く洗います。
- その後、水を入れて沸騰させ、そのお湯を捨てる事を1～2回繰り返してください。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。

【使用上の注意】

- 使用する前には必ず各部に異常がないことを確認してください。また、各部に亀裂、破損、へこみ、曲がり、緩み等の異常が生じた場合は使用しないでください。
- 湯沸かし以外の使用は変色や腐食の原因になりますので避けてください。また、調理等に使用しないでください。
- 縁まで水を満たした状態で使用しないでください。水は適量にて使用してください。多く入れると熱湯が吹き出しヤケドの危険があります。
- 蓋を取ったままの状態では加熱しないでください。取っ手が蒸気で熱くなりヤケドの危険があります。また、取っ手樹脂の破損の原因にもなります。
- 空炊きをしないでください。空炊きをするとケトルの変形や破損の原因になります。火災やヤケドの危険もあります。
- 湯沸かし中、湯沸かし直後は取っ手またはツマミが熱くなる場合があります。鍋ツカミを使用するなどしてヤケドに注意してください。特に幼児の手に触れる事のないように十分注意してください。
- 湯をポットにあけた直後や熱湯が残っている時に取っ手を持ったまま蓋を開けないでください。蒸気によるヤケドの危険があります。
- 使用用途以外の使用(酒・薬品等を沸かす)は、変色や腐食の原因になりますので避けてください。また、調理には使用しないでください。
- 万一、取っ手の取り付け部分がガタついた場合や取っ手にヒビ割れやカケが生じた場合は使用しないでください。脱落してヤケドの危険があります。
- 蓋のツマミがゆるんだ時はネジを締め直してください。
- 取っ手の破損に対し改造や応急処置等の手当てをして使用しないでください。



N 使いやすい お茶のやかん 2.6ℓ

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。

この商品は家庭で調理するために使用するものです。ご使用の際には取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取り扱いは事故につながります。読んだ後は大切に保管してください。

- ストーブの上では使用しないでください。ケトルの転倒によるヤケドの危険があります。
- 高い所から落とす等の強い衝撃を与えないでください。破損や変形の原因になります。
- 加熱する時は取っ手を立ててください。倒したまま使用すると取っ手が加熱され破損してしまいます。
- 湯沸かし直後にお湯を注ぐと高温になった注ぎ口を通してお湯が更に加熱されて熱湯が飛び散る場合があります。火を止めて20秒程度待ってから注ぐようにしてください。
- ステンレスの表面は空炊き以外でも高温にさらされることにより変色する場合があります。特に極少量の水を入れて沸騰させると、水が入っていない部分が高温になり変色の原因になります。水量と火力には注意してください。
- お湯を注ぐ時はツマミを押えて注いでください。蓋が外れてヤケドの危険があります。

【ガスコンロで使用する時は】

- 炎がケトルの底面からはみ出さないように火力を調節してください。炎が大きいと取っ手やツマミが加熱されて変質や変形の危険があります。
- ケトルはコンロの中央部に乗せ安定させて使用してください。また、隣接するコンロやグリルの炎や熱風が当たらないようにケトルの向きに注意してください。



【クッキングヒーターで使用する時は】

- 効率良く加熱して頂くために、底についた水滴はきれいに拭き取ってください。
 - ケトルはヒーターの中央部に置いてください。
 - IHで加熱中にブーンといった音が生じることがありますが、ヒーターとケトルの振動の波動が共鳴するため生じるものでケトルの異常ではありません。
 - 落下や空炊き等で変形やガタツキが生じた場合は使用しないでください。
- ※お使いのクッキングヒーターの取扱説明書にそって正しくご使用ください。